

公益社団法人 奈良県診療放射線技師会 会報

鹿苑
ろくえん
ニュース

No. 291

2023年11月19日発行

発行所：公益社団法人 奈良県診療放射線技師会 発行人：高谷 英明 編集人：高田 太輔
〒634-0076 奈良県橿原市兵部町2-9 フレガビル4階 TEL 0744-24-6270

巻頭言

「温故知新」



公益社団法人 奈良県診療放射線技師会 学術委員長 細川 倫之

新型コロナウイルス感染症の位置づけが今年の5月8日から「5類感染症」に引き下げられたことにより、世間ではコロナ前、もしくはコロナ前以上の活気が日常に戻ったと感じる日々が続いている。スポーツに目を向けるとWBC(ワールド・ベースボール・クラシック)で日本(侍ジャパン)が3大会ぶり3回目の優勝を成し遂げたのを皮切りに、競馬界ではドバイ・ワールドカップでウシュパテソーロが優勝し、日本馬が同レースを制するのは12年ぶりとなった。また、夏の甲子園では慶応義塾高等学校が107年ぶりの全国制覇、プロ野球セ・リーグでは阪神タイガースが18年ぶりに優勝し、38年ぶりの日本一に向けて熱い戦いが幕を開けようとしている。

これら躍動の裏には近代的・科学的な筋肉トレーニングやメンタルトレーニング、もちろん日本人の体系の変化も関係していると思われるがより使いやすいスポーツ用品の開発など新しい技術が活用されたことによる結果が反映されているのではないかと推測される。しかし、何十年ぶり・百何年ぶりということ考えるとこれらの最先端技術がない中でも同じように素晴らしい記録が打ち出されていた事を思うと、先人の方たちの努力や技術の凄さが改めて証明されたのではないだろうか。

10月22日(日)に(公社)奈良県診療放射線技師会学術大会2023が開催された。開催テーマは「診療放射線技師の仕事を考える～故きを温め新しきを知る～」とし、我々診療放射線技師の仕事の基本である膝、腰、股関節の一般撮影に、新たな考えとして立位で撮影することで疾患の診断能が向上することや治療の方針をより評価できるようになるなど立位撮影の必要性を教授いただいた。また、タスクシェアの一環として「検査台から降ろすまでに気づいて欲しい!緊急を要する画像所見:STAT画像報告に向けて」と題し撮影した画像をただ医師のもとに送るのではなく、送る前に私たち技師が画像に目を向けより早く患者さんの危険な状態を認識し、それを医師に伝えることで患者さんの命に直結する業務がこれからの私たちに求められていることが認識できた。

新たな行為として静脈穿刺があり、まだまだ実施している施設は少ないが慢性的な看護師不足や医師の働き方改革などで周囲から技師のタスクシェア/タスクシフトを求められることで静脈穿刺実施施設が増えていくことになるのではと思われる。

日本初や日本人初の快挙が報じられているように、諸先輩方の努力、技術を引継ぎ新たな業務、知識を有することで診療放射線技師初の快挙が見られるのではないかと期待に胸を躍らせながら、皆様のお力添えができる学術委員を目指し邁進して参ります。

奈良県診療放射線技師会のホームページでは
今号の鹿苑ニュースをカラー掲載しています。
こちらのQRコードからでもご覧いただけます⇒



新生涯教育システムって、いったい何ですか？ -中編-

2023年度に公益社団法人日本診療放射線技師会が運用を開始した「新生涯教育システム」について、今号ではラダーの各レベルの内容やレベル認定・維持要件などについて解説させていただきます。詳しい情報を知りたい方は、日本診療放射線技師会誌 JART May, 2023 Vol.70/No.847 p.91-109 を御覧ください。

Q.1 ラダーとは？（前号の Q&A から引用・追記）

A.1 新生涯学習システムでは、自ら到達目標を把握し、習熟度レベルを可視化できるようにラダー方式を取り入れました。ラダーとは「ladder=はしご」を意味しており、はしごをのぼるように一段一段ステップアップしていく仕組みです。ステップごとに求められる課題が明確なので、目標を立てながらスキルアップできます。臨床現場で求められる、実践の放射線診療における知識レベル向上のためのクリニカルラダーと、組織マネジメントという観点から人材育成を行うことを目的としたマネジメントラダーからなります。本会では「知識的ラダー」を担うものとし、知識レベルと継続学習を全国統一のものさしで評価することとしました。各施設で評価する「技能的ラダー」と合わせて活用していただくことを考えています。

	クリニカルラダー		マネジメントラダー
レベル5 (研究・教育)	専門の知識・技術を活かし創造性を発揮し、教育、研究ができる	レベル5 (部長・技師長)	医療経営に参加し社会に貢献できる
レベル4 (スペシャリスト)	卓越した知識・技術を活かし専門性が発揮できる JARTがめざす専門診療放射線技師	レベル4 (技師長・副技師長)	部門管理をした上で他部署との連携でチーム医療を実践できる
レベル3 (スペシャリスト)	知識・技術を活かし日常業務の質向上、後進の指導等ができる	レベル3 (主任)	部署・部門の管理ができる
レベル2 (ジェネラリスト)	日々進歩する標準医療を担保できる（科学的根拠に基づく医療の実践）		
レベル1 (新人教育)	常の放射線診療に必要な基礎知識を身につけ、医療安全を担保できる		

公益社団法人日本診療放射線技師会ホームページ (<https://www.jart.jp/>) より

Q.2 各レベルにおける認定・維持・カウント不足した場合の仕組みは？

A.2

クリニカルラダー レベル1	
認定	ラダー項目に対応したセミナー、e-ラーニングコンテンツをすべて受講し、Web 試験に合格することでレベル認定されます。フレッシューズセミナーはここに含まれます。 感染対策、エチケット・マナー、医療コミュニケーション、被ばく低減、医療安全学、看護学救急医療学、医療社会倫理学、自己教育・研究支援セミナー、生命科学・医学系研究倫理指針
維持	認定されたレベルを維持するためには、1年間に30カウントの学術受講カウントを必要とします。（レベルを取得した翌年度4月1日を始期とし、毎年度3月31日に確認）
カウント不足	翌年度を含めて2年間で60カウント取得することでレベルが維持できます。2年間でカウントが不足する場合は、レベルが1段階下がります。ただし、レベル2までは下がることにはなりますが、レベル1に下がることはありません。

クリニカルラダー レベル 2	
認定	クリニカルラダー レベル 1 が認定された上で、5年の経験年数に加え、基本的には、診療放射線技師基礎講習 基礎技術コースをすべての科目で受講修了することでレベル認定されます。都道府県（診療）放射線技師会等で開催する講習会においても、JART が定める各学習目標の 60%の内容を担保しているものは対象とします。
	一般撮影、CT、消化管、乳房撮影、IVR、MRI、RI、治療、US、眼底カメラ、骨塩定量
維持	認定されたレベルを維持するためには、1年間に 30 カウントの学術受講カウントを必要とします。（レベルを取得した翌年度 4 月 1 日を始期とし、毎年度 3 月 31 日に確認）
カウント不足	翌年度を含めて 2 年間で 60 カウント取得することでレベルが維持できます。2 年間でカウントが不足する場合は、レベルが 1 段階下がります。ただし、レベル 2 までは下がることにはなりますが、レベル 1 に下がることはありません。

クリニカルラダー レベル 3	
認定	クリニカルラダーレベル 2 が認定された上で、放射線管理士、放射線機器管理士、医療画像情報精度管理士、臨床実習指導教員、放射線被ばく相談員のうち 2 つの認定を取得し、さらにクリニカルラダー画像診断系または放射線治療系の中項目を 2 つクリアすることでレベル認定されます。画像診断系、放射線治療系の両方のレベルを取得することも可能です。
	画像診断系：乳房撮影、超音波検査、CT 検査、MRI 検査、一般撮影、血管撮影・IVR、RI 検査 放射線治療系：放射線治療概論、治療物理学、吸収線量評価、放射線治療計画、放射線照射技師、放射線治療の品質管理・品質保証、患者ケアとチーム医療
維持	認定されたレベルを維持するためには、1年間に 30 カウントの学術受講カウントを必要とします。（レベルを取得した翌年度 4 月 1 日を始期とし、毎年度 3 月 31 日に確認）
カウント不足	翌年度を含めて 2 年間で 60 カウント取得することでレベルが維持できます。2 年間でカウントが不足する場合は、レベルが 1 段階下がります。ただし、レベル 2 までは下がることにはなりますが、レベル 1 に下がることはありません。

クリニカルラダー レベル 4・5	
詳細が決まり次第公表します。	

マネジメントラダー レベル 3	
認定	クリニカルラダー レベル 2 が認定された上で、マネジメントラダー レベル 3 において、研修によりクリアできる項目を 100%、e-ラーニングによりクリアできる項目を 60%受講することで認定されます。
	所定の研修項目および e-ラーニングにおける所定の学習項目： 担当部署の理解と監督、人材育成能力、コミュニケーション能力に関する項目
維持	レベルを維持するためには、1年間に 10 カウントのマネジメントカウントを必要とします。（レベルを取得した翌年度 4 月 1 日を始期とし、毎年度 3 月 31 日に確認）
カウント不足	翌年度を含めて 2 年間で 20 カウント取得することでレベルが維持できます。2 年間でカウントが不足する場合は、レベルが 1 段階下がります。

マネジメントラダー レベル4	
認定	マネジメントラダー レベル3が認定された上で、マネジメントラダー レベル4において、研修によりクリアできる項目を100%、e-ラーニングによりクリアできる項目を60%受講することで認定されます。
	所定の研修項目およびe-ラーニングにおける所定の学習項目： 担当部署の理解と監督、人材育成能力、コミュニケーション能力に関する項目
維持	レベルを維持するためには、1年間に10カウントのマネジメントカウントを必要とします。 (レベルを取得した翌年度4月1日を始期とし、毎年度3月31日に確認)
カウント不足	翌年度を含めて2年間で20カウント取得することでレベルが維持できます。2年間でカウントが不足する場合は、レベルが1段階下がります。

マネジメントラダー レベル5	
認定	マネジメントラダー レベル4が認定された上で、マネジメントラダー レベル5において、研修によりクリアできる項目を100%、e-ラーニングによりクリアできる項目を60%受講することで認定されます。
	所定の研修項目およびe-ラーニングにおける所定の学習項目： 担当部署の理解と監督、人材育成能力、コミュニケーション能力に関する項目
維持	レベルを維持するためには、1年間に10カウントのマネジメントカウントを必要とします。 (レベルを取得した翌年度4月1日を始期とし、毎年度3月31日に確認)
カウント不足	翌年度を含めて2年間で20カウント取得することでレベルが維持できます。2年間でカウントが不足する場合は、レベルが1段階下がります。

※暫定移行措置により自動で移行したラダーレベルにつきまして、レベルの認定要件を満たしていない場合はその要件のクリアが必要となります。

Q.3 学術受講カウント、マネジメントカウントとは？

A.3 新生涯教育システムで各レベルの維持に使用するカウントには、講習会、セミナー、学術大会等への参加実績に基づき付与される学術研修カウント及び、マネジメント関連の講習会、学術大会等への参加実績に基づき付与されるマネジメントカウントがあります。(詳しくは次号で説明します)

▶学術研修カウント

診療放射線技師基礎講習の医療基礎コースや基礎技術コース、応用技術コース、各分科会等が企画開催する生涯教育セミナー、認定資格を取得するための講習会(認定講習会)などの受講、日本診療放射線技師会が認定する認定資格の取得、日本診療放射線技師学術大会での研究発表や参加などにより得られるカウントです。

▶マネジメントカウント

マネジメント関連の講習会、学術大会等の研修会に参加することで得られるカウントです。

以上、今号ではラダーの各レベルの内容やレベル認定・維持要件などについて説明させていただきました。次号では、カウント付与などについて解説いたします。

奈良県開催の第7・8回診療放射線技師法一部改正に伴う 令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修

1. 研修日： 2023年12月16日・17日（いずれか一日）
2. 場所： 奈良県立医科大学附属病院（会場型実技研修）
3. 時間： 9時から18時（学習時間385分）（受付開始8時30分～）
4. 内容： 午前座学、午後実習7カウント付与修了時に基礎+実技分を付与
5. 受講資格： 告示研修（基礎研修）修了者
6. 受講料： 会員：10,000円 非会員：20,000円
7. 受講申し込み期間： （先行予約については最下段を参照ください。）
2023年10月9日～12月1日（2023年12月16日開催分）
2023年10月9日～12月1日（2023年12月17日開催分）

1. 受講申し込み方法：

JARTISの【イベント参加のお申し込み】よりお申し込み

2. 持ち物： 受講票、昼食（各自ご用意ください）、筆記用具、
マスクを着用してください。

受講票＝受講確定後 JART から返信メールを印刷してお持ちください。

<先行予約について>

業務拡大に伴う統一講習会を受講済みの方のみ10/2からお申し込みが可能です。

その他の方は10/9からのお申し込みとなります。

業務拡大に伴う統一講習会の内容を習得した卒業生も10/9からのお申し込みとなります。

問い合わせ

（公社）奈良県診療放射線技師会

理事 錦 一聡

nishiki@rokuen.jp

「(公社) 奈良県診療放射線技師会学術大会 2023」開催報告

奈良県診療放射線技師会 学術委員会
委員長 細川 倫之

令和 5 年 10 月 22 日（日）橿原市商工経済会館大ホールにて（公社）奈良県診療放射線技師会学術大会 2023 が開催された。昨年と異なり 4 年ぶりの一日開催で、ランチョンセミナーを含む大規模な開催となった。また、4 年前では行っていなかったハイブリッドで開催を行った。今では多くの学会、研修会でハイブリッド開催が行われており、参加する皆様にとっては当たり前になったハイブリット開催だが、主催者側は現地への気配りに加え Web 配信にも気を配らなければならず、2 倍から 3 倍の労力が必要となる。



当日は 8 時 30 分から会場に入り、打ち合わせや設営を行い、web 配信の確認で基調講演のビデオ音声会場に流れないトラブルが発生した。原因が分からないまま大会開始 1 分前となってしまう、未解決のままスタートすることとなってしまった。会長の開会の辞、会員研究発表と進み、ランチョンセミナーの準備中にシーメンスの担当者から会社の PC のため zoom をインストールすることができない、データーを他の PC に移すことができないとの申し入れがあった。悩んだ結果、会場のスクリーンに映し出された映像をスクリーンの前に設置した PC のカメラで撮影し、それを Zoom で配信させることでその場を凌いだ。Web で視聴された方々には不鮮明な映像となってしまったことをこの場をお借りして謝罪いたします。



奈良県診療放射線技師会のホームページでは
今号の鹿苑ニュースをカラー掲載しています。
こちらの QR コードからでもご覧いただけます⇒





その後も教育講演 1 で動画が動かなくなったり、教育講演 2 で映像が中断したりと、トラブル続きとなってしまった。基調講演の音声は再度チェックを行い、正常に音声を流すことができたが、シンポジウムも大きなトラブルなく終わらせることができたが、予定終了時間を大幅にオーバーしてしまい、25分遅れの閉会となってしまった。参加して下さった皆様には不甲斐ない運営となってしまったことを心よりお詫び申し上げます。しかしながら、アンケートでは教育講演 1・2 とも非常に勉強になったとの声を多くの方々から頂き、基調講演・シンポジウムにおいても我々が期待する感想を頂くことができました。また参加人数は 140 名と、過去 4 年間で一番多くの参加を頂きました。



学術大会後の親睦会も 42 名が参加し、その内 12 名が新入会員と、これからの奈良県診療放射線技師会が益々活気づいていくことが期待できる時間となった。先輩、後輩との楽しい歓談で疲れも吹き飛び、大変有意義な一日となりました。今回参加できなかった皆様も、来年は是非とも参加していただき、奈良県診療放射線技師会にご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。



漏洩線量測定講習会 参加記

天理よろづ相談所病院 放射線部
石塚 浩輔

私は2023年10月14日に奈良県放射線技師会主催の漏洩線量測定講習会に参加させて頂きました。講習会は前半が座学、後半は実技講習の二部構成で行われました。

座学では千代田テクノル大阪営業所の高木敦史様から漏洩線量測定に関する法令や測定方法などについて講演して頂きました。近年の法令改正に伴い内容の変更された箇所にも触れてお話下さり、技師として働き始めてからも知識のアップデートが重要であることを再認識しました。

後半の実技講習では奈良県立医科大学から小西勇輔様、天理よろづ相談所病院から小西高史様のお二方に講師としてお越し頂き、X線撮影室・CT室にて線量測定を行いました。技師会貸し出し用のデジタルタイプのサーベイメータと当院で使用しているアナログタイプの2種類を使ってそれぞれの測定方法や注意事項について学びました。アナログタイプでは積算測定用と線量率測定用で2台の線量計に分かれているのに対し、デジタルタイプでは1台で積算と線量率の両方を測定が可能で、とても使い勝手に優れていると感じました。また元の講習内容に加えてCT検査室内での場所の違いなどによる被ばく線量についても検証を行い、ガントリーからの距離やプロテクターの有無による被ばく線量の差についても学ぶことができました。

今回の講習会では基礎的な線量測定の知識のほかにも他施設の機器管理に対する取り組みなど有益な情報を得ることができ、とても意義のある講習会であったと感じました。最後に、漏洩線量測定講習会を開催して下さった奈良県診療放射線技師会の幹事の皆様、並びに講義をして頂きました講師の方々に感謝申し上げます。



安全管理委員会だより vol.8

皆さんご存知ですか？

今までの安全管理委員会だよりは、医療安全ネットワーク会議の内容や参加記を会員の皆様に情報発信しておりました。今回の安全管理委員会だより少し趣向を変えて『皆さんご存知ですか？』をテーマとし、会員の皆様に情報共有をさせていただきたいと思っております。既にご存知の方は再度確認していただけましたら幸いです。

今回の情報共有のモダリティはMRIです。当院にMRIを受けに70歳代の男性の患者様が来られました。この方は他院紹介で当院での検査は初めての患者様です。いつも通りに、検査前に問診票や金属チェックシートなどで金属の持ち込みを防ぐために当院スタッフと患者様で確認を行いました。患者様より「体に機械が埋め込まれているがMRIの検査を受けたことはある」とおっしゃっていただき、金属探知機でも反応がありました。さらに問診すると「脊髄の治療にその装置を使用しており〇〇病院で診てもらっており、MRIの検査もそこで受けています」とのこと。

私も担当しており、MRIの検査を受けたことがあるなら大丈夫だと思いましたが、念のため〇〇病院に問い合わせをした方が安全だと判断し、すでに患者様にはこの時点でもかなり待っていただいておりますが、その旨を説明させていただき問い合わせさせていただきました。

問い合わせをした結果、植え込まれているデバイスが条件付き全身MRI対応脊髄刺激（SCS）システムであることが判明し、MRIも条件付きで対応であることがわかりました。問い合わせしたご施設に確認するとペースメーカー同様に、MRモードに変更し1.5Tの装置では検査可能だとのこと、またそれに伴い脊髄刺激療法を受けておられる患者様のMRI撮像に関わる医療従事者にはオンライントレーニングの受講が必要であることもわかりました。

結果的には当院では3Tの装置しかありませんのでこの時点で検査はできません。また、患者様も「紹介していただいた先生には脊髄刺激療法をしていることは伝えておらずMRIの検査は受けたことがあるから問題ない」と思っておられたそうです。そのため、事情を説明して検査は中止とし入室を未然に防ぐことができました。

私自身、勉強不足でこのようなデバイスがあることを初めて知りましたが「MRIの検査を受けたことがあるから大丈夫だろう」と安易な気持ちで入室させてしまっていたら大変な事態になっていたかもしれません。

条件付き全身MRI対応脊髄刺激（SCS）システムというデバイスがあり条件付きでMRI検査も可能です。しかし当院のように3Tの装置のみ保有している、オンライントレーニングを受講していない等の条件に該当しない施設も少なくないと思います。そのため、この場をお借りし情報共有とさせていただきます。少しでも参考になりましたら幸いです。

今後の安全管理委員会だよりも、会員の皆様になにか有益となる情報を発信していこうと検討しておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

安全管理委員会 委員長 吉田 真大

2023年度第3回定例理事会議事録

日 時：2023年9月19日(火) 19時02分～20時41分

場 所：奈良県立医科大学 蔵櫃会館 特別会議室

〒634-8522 奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051 (代)

出席理事：高谷英明、池口俊孝、小林勝宏、竹中智士、
野儀明宏、日浦之和、秋山敬純、山田卓実、
辻村恭平、細川倫之、玉井宏征、吉田真大、
高田太輔、錦 一聡、古川卓也

出席監事：水野吉将、高嶋敏光

会長挨拶：猛暑が続き「危険な暑さ」と毎日のように注意喚起がありました。まだまだ暑い日が続いておりますが体調管理には十分にご留意くださいますようお願いいたします。早いもので第3回目の理事会となりますが、ここからは当会の事業が目白押しに開催される予定です。各委員長様にはご足労をおかけしますが何卒宜しくお願ひいたします。今回も活発な討論をお願い申し上げます。

定数確認 (第30条) 出席理事 14名、出席監事 2名

定款 30条により、理事会の成立が宣せられた。

議事録作成人ならびに署名人の指名

議 長 (第31条)：高谷英明 会長

議 事 録 作 成 人：竹中智士常務理事

議事録署名人 (第32条)：水野吉将監事、高嶋敏光監事

I. 議案 (報告事項)

1. 会長報告

(1) 奈良県関係

①令和6年春の叙勲候補者推薦

②台北駐大阪経済文化辦事處

国慶節祝賀レセプション 10月6日 (金)

(2) 奈良県診療放射線技師会関係

①令和5年度近畿地域診療放射線技師会学術大会について

演題提出のお願い、シンポジスト1名の選出

(3) 日本診療放射線技師会関係

①上田会長との懇談会の若手技師選出について

応募はありませんでしたので2名を選出しなければなりません

奈良県立医科大学附属病院の柴田会員と、錦理事に
お願いした。

②兵庫県放射線技師会

創立75周年記念式典 (10月22日)

③大阪府診療放射線技師会

創立75周年記念式典 (11月5日)

④京都府診療放射線技師会

創立75周年記念式典 (11月19日)

【質疑】なし 【審議事項】なし

【他府県からの発行物】

(公社) 日本診療放射線技師会

日本診療放射線技師会誌 2023.8 Vol.70/No.850

日本診療放射線技師会誌 2023.9 Vol.70/No.851

(一社) 北海道放射線技師会 会報 2023年9月号

(公社) 福島県診療放射線技師会

福島放技ニュース 2023 VOL.195

会報 2023 No.59

(公社) 東京都診療放射線技師会

東京放射線 2023年9月号 Vol.70 No.819

(公社) 神奈川県放射線技師会 かながわ放射線だより

「KART」 Vol.76 No.1 Jul.2023 305

(公社) 静岡県放射線技師会

SHIZUOKA JOURNAL Vol.33 No1.2023 (通巻217号)

公益法人化 10周年記念誌

(公社) 大分県放射線技師会

大分放射線 第132号 July 2023

<近畿地域診療放射線技師会関係>

【発刊物】

(公社) 京都府放射線技師会

京放技ニュース 8/2023 通算 759

京放技ニュース 9/2023 通算 760

公益社団法人 京都府診療放射線技師会雑誌

(公社) 大阪府診療放射線技師会 大放技会報 No.351

(一社) 和歌山県放射線技師会 和放技ニュース第127号

<医療関連団体関係>

【他団体からの発刊物】

(一社) 奈良県医師会 奈良県医師新報 vol.858 July. 2023

(公社) 日本歯科技工士会

「日本歯技」5 May 2023 第647号

「日本歯技」6 June 2023 第648号

「日本歯技」7 July 2023 第649号

(一社) 奈良県薬剤師会 NARA 第196号 2023年6月

(一社) 奈良県臨床検査技師会

奈臨技ニュース No.349 JUL.2023

奈臨技ニュース No.350 AUG.2023

奈臨技ニュース No.351 SEP.2023

(一社) 奈良県歯科衛生士会 会誌 No.55 2023

千代田テクノ FB News 2023 8 No.560

FB News 2023 9 No.561

大阪物療大学 BUTSURYO SHINBUN N0.25

2. 副会長の活動報告

(池口副会長)

2023年度「診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー」 奈良県社会福祉総合センター 中会議室

2023年7月29日(土)

第3回学術委員会 2023年8月1日(火)

第1回臨時理事会 Web開催 2023年8月28日(月)

第2回安全管理委員会 Web開催 2023年8月29日(火)

2023年度第1回近畿地域診療放射線技師会会長・副会長会議 済生会中津病院 西棟 1階会議室

2023年9月2日(土)

(小林副会長)

2023年度「診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー」 奈良県社会福祉総合センター 中会議室

2023年7月29日(土)

2023年度第2回合同学術大会開催準備委員会

済生会中津病院 西棟 3階会議室 2023年7月30日(日)

第3回組織委員会 Web開催 2023年8月16日(水)

放射線フェスタ 2023 近鉄百貨店橿原店メビウスホール

2023年8月20日(日)

第1回臨時理事会 Web開催 2023年8月28日(月)

第2回安全管理委員会 Web 2023年8月29日(火)

2023年度第1回近畿地域診療放射線技師会会長・副会長会議 済生会中津病院 西棟 1階会議室

2023年9月2日(土)

II. 常設委員会

1. 総務関連事項 (竹中智士常務理事)

7月11日から9月10日まで

(1) 新入会員3件: 78161、78171、78172

(2) 退会0件

(3) 転入1件: 73380

(4) 転出0件

(5) 異動4件

(6) 新規施設登録0件

(7) 施設情報変更0件

(8) 賛助会員1件

株式会社 千代田テクノル 担当者変更

(9) 慶事・弔事0件

(10) 会員数

(公社) 奈良県診療放射線技師会正会員 448名

奈良県のみ2名含む

(7月10日 第2回定例理事会報告時 444名)

備考: 公益社団法人日本診療放射線技師会関連

奈良県会員 446名 仮会員 0名 (9月10日現在)

(11) イベント・カウント申請、完了

① 申請

8月5日

告示研修(実技研修) 奈良県 2023_12_16 (12/16)

告示研修(実技研修) 奈良県 2023_12_17 (12/17)

放射線フェスタ 2023 (8/20)

2023年度組織事業 東・南地区懇話会 (9/22)

9月1日

(公社) 奈良県診療放射線技師会学術大会 2023(10/22)

② 完了

8月29日 放射線フェスタ 2023 (8/20)

(12) その他 なし

【質疑】なし 【審議事項】なし

2. 財務関連事項 (山田卓実財務委員長)

中間報告 ※次頁に掲載しております

【質疑】なし 【審議事項】なし

3. 学術関連事項 (細川倫之学術委員長)

(1) 学術大会 2023 について

① 進捗報告

開催日時: 2023年10月22日(日) 10:30~17:15

開催場所: 橿原市商工経済会館 7階大ホール

テーマ: 「診療放射線技師の仕事を考える～故きを温めて新しきを知る～」

内容: 奈放技学術大会 2023 プログラム

開催方法: ハイブリッド開催(オンデマンド配信なし)

会費: 会員(近畿の診療放射線技師会会員および日本放射線技術学会近畿支部会員)

: 現地参加 無料 Web参加 500円

非会員: 現地参加 1,000円 Web参加 1,500円

2023年度 9月1日 現在 会計中間報告

科目	公益目的事業会計								
	公1			公2			公3		
	県民に対する講演会、 知識の普及啓発事業			研究調査及び指導、 職業倫理の高揚を支援			図書刊行物の発行及び ホームページにおける		
経常費用	予算額	支出額	予算 執 行率	予算額	支出額	予算 執行率	予算額	支出額	予算 執 行率
事業費									
会場費	190,000	23,100	12%	224,000	211,464	94%	0		
旅費交通費	50,000	0	0%	50,000	6,600	13%	0		
通信運搬費		0		70,000	13,719	20%	250,000	181,116	72%
消耗品費	60,000	38,676	64%	1,000	3,278	328%	0		
印刷製本費	200,000	8,630	4%	50,000	1,890	4%	600,000	431,114	72%
賃借料	203,000	24,640	12%	20,000	0				
諸謝金	0	0		300,000	0	0%			
支払手数料	5,000	1,595	32%	5,000	825	17%		1,000	
会議費	0	0		30,000	0				
福利厚生費	0	0			0				
研究助成費		0			0		0		
雑費	42,000	0	0%	150,000	32,117	21%	0		

科目	その他事業会計								
	他1			他2			他3		
	日放技及び近畿地域放射線技師会との 連携による学術大会			研究会・勉強会への助成事業及び 海外研修生の受け入れ事業			会員に対する福利厚生事業		
経常費用	予算額	支出額	予算 執 行率	予算額	支出額	予算 執行率	予算額	支出額	予算 執 行率
事業費									
会場費	0			0			40,000		
旅費交通費	0			0			40,000		
通信運搬費	0			0					
消耗品費	0			0					
印刷製本費	0			0					
賃借料	0			0					
諸謝金	0			0					
支払手数料	0			0					
会議費	0			0					
福利厚生費	0			0			70,000		
研究助成費	0			100,000		0%	0		
雑費	0			0			0		

科目	法人会計		予算 執 行率
	予算額	支出額	
管理費			
総会費	50,000	17,657	35%
旅費交通費	100,000	58,100	58%
通信運搬費	100,000	53,117	53%
消耗品費	120,000	8,612	7%
印刷製本費	150,000	223,890	149%
支払手数料	10,000	2,645	26%
賃借料	450,000	228,000	51%
雑費	450,000	33,190	7%

- 鹿苑ニュース289号 ¥71,114 公3 印刷製本費より支出
- 東・南地区懇話会 会場費 ¥94,974 公2 会場費より支出
- 学術大会 会場費 ¥116,490 公2 会場費より支出

予算案：

	科目	2019年度決算	2023年度予算	
収入	参加費	(非会員 1000 ×12名)	(Web参加 500×100 名)	
		12,000	50,000	
	事業対策費	281,868	341,240	
	計	293,868	391,240	
支出	会場費 会場使用料	73,368	118,800	
	会場備品費	39,750	21,450	
	公益活動割引		-23,760	
	講師控室 (DaiwaRoyalHotel) 9~18 時		18,000	
	Web開催費用		33,750	
	講師謝金(講師・座長・シボ ジスト)	38,000	88,000	
	交通費(講師・座長・シボジス ト・理事 ・学術委員・実行委員)	25,780	30,000	
	スタッフ・講師等昼食費(55 食)	55,000	0	
	会議費(シンポ・抄録・括 大)	17,880	35,000	
	印刷費(ポスター・抄録集・ 名札)	41,066	60,000	
	通信費	0	0	
	雑費	3,024	10,000	
	消耗品費(記念品)	(モバイルバッテリー 17個)		
		計	293,868	391,240

(その他、学術大会関連費用)

支出	ランチセミナー(弁当・お茶)	(140食)	
		(140本)	
総合計			404,800

②その他

ア 実行委員役割分担：奈放技学術大会 2023 役割分担

イ 親睦会：2023 技師会親睦会案内

(2) 2023 年度県民公開講座について

①進捗報告

開催日時：2024年1月20日(土) 14:00~17:00

閉会后、奈良県診療放射線技師会新年親睦
会(仮)を開催予定

開催場所：橿原市商工経済会館 7階大ホール

テーマ：「認知症」

内容：診療放射線技師の立場から

「認知症をみる 知っておきたい画像診断」

高井病院 玉井宏征

認知症認定看護師の立場から

奈良県立医科大学附属病院

認知症認定看護師 池内氏

医師の立場から

奈良県立医科大学精神医学教室

松岡 究 先生

予算案：

	科目	2022年度決算	2023年度予算	
収入	参加費	-	-	
	事業対策費	233,405	483,350	
	計	233,405	483,350	
支出	会場費 会場使用料	85,800	71,500	
	会場備品費	15,950	21,450	
	講師控室使用料(4Fの会議室)		23,100	
	公益活動割引	-17,160		
	Web開催費用		33,750	
	謝金(講師)	61,000	90,000	
	交通費(理事、学術委員)	11,780	15,000	
	昼食費(理事:15名、学術委員:6名)		20,000	
	印刷費(ポスター、抄録、垂れ幕)	26,224	60,000	
	通信費(返信用ハガキ、郵送料)	46,260	50,000	
	記念品代(除菌シート、ペン)		93,550	
	雑費	3,551	5,000	
		計	233,405	483,350

【質疑】

高谷会長：学術大会の申し込みの状況はどうか。

細川理事：まだ現地参加が10名ほど、Webが2名ほど
しかありません。本日鹿苑ニュースの封入作
業がありますが、そちらにポスターとプログ
ラムを入れて配送します。それにより、参加
希望者が増えるの見込んでいます。

高谷会長：お弁当をたくさん注文していますよね。

細川理事：140名分用意しています。スタッフで30数
名ほど、参加者100名ほどとなります。申
し込み状況により変わってくるかと思いま
す。高谷会長：コロナ禍前で120名ほどだったように記憶
しています。できるだけ多くの方に参加して
いただけるようにお声がけしていただきた
い。あと1か月ほどありますので、どれくら
い増えるか。

小林副会長：一般演題は埋まったのでしょうか。

細川理事：会員6名から応募がありました。当初最大7
演題募集しておりましたが、6演題で締め切
らせていただきました。その分余裕をもって
進行できると思います。

高谷会長：ハイブリットの予行は行いますか。

細川理事：予行は行いません。ただし実行委員が多いの
で、Web または会場での会議をする予定で
す。

高谷会長：予定がタイトになりますので、日程調整をして連絡をお願いします。

日浦理事：HP の学術大会のポスターが詳細はまだとなくなっていました。

秋山理事：新しいものに差し替えています。

山田理事：実行委員の交通費について、こちらで準備します。職場から会場までにしたいのですがよろしいですか。

細川理事：そのようにお願いします。

【審議事項】

奈良県診療放射線技師会学術大会 2023 予算案

保留【0】 反対【0】 賛成【15】

2023 年度県民公開講座予算案

保留【0】 反対【0】 賛成【15】

4. 教育関連事項（錦 一聡教育委員長）

(1) 日本診療放射線技師会関係

①2023 年度「診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー」

開催日時：2023 年 7 月 29 日(土)

開催形式：会場対面型(事前登録制)

開催場所：奈良県社会福祉総合センター中会議室 6 F

対象：2023 年度より診療放射線技師として勤務する者

募集期間：2023 年 5 月中頃～2023 年 7 月 18 日(金)

定員：40 名


講師と内容：

エチケット・マナー	30 分	池口 俊孝
医療コミュニケーション	30 分	池口 俊孝
被ばく低減	30 分	小林 勝宏
医療安全	60 分	小林 勝宏
感染対策	60 分	竹中 智士
気管支解剖・胸部撮影講座	120 分	高谷 英明
入会案内	30 分	高谷 英明

修了証、ポイント付与あり。

謹呈品は日本診療放射線技師会で準備中。

フレッシューズセミナー終了後の懇親会はコロナ感染が増加しているため、中止とした。

イベント開催報告書				公益社団法人奈良県診療放射線技師会	
委員会	教育委員会	イベント名	診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー	委員(無料)	8名
報告者	錦 一聡	日時	2023年7月29日	対象(※0)	一般市民
		場所	奈良県社会福祉総合センター 6F 中会議室		15名
プログラム・内容:					
科目	時間	講師			
エチケット・マナー講座	30分	池口 俊孝 (奈良県立医科大学附属病院)			
医療コミュニケーション	30分	池口 俊孝 (奈良県立医科大学附属病院)			
被ばく低減	30分	小林 勝宏 (田北病院)			
医療安全講座	60分	小林 勝宏 (田北病院)			
感染対策講座	60分	竹中 智士 (近畿大学奈良病院)			
胸部撮影講座	60分	高谷 英明 (国保中央病院)			
気管支解剖講座	60分	高谷 英明 (国保中央病院)			
技師会活動について	30分	奈良県診療放射線技師会 会長 高谷 英明			
コメント: 今年度の「診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー」は会場対面型で開催いたしました。申込者数は、終了後発行枚数20名でした。4人の講師を起用し、前回の会場対面型であるのと同様に開催いたしました。申込者数が前年度と比較し低下してしまいましたが、終了後参加者のほとんどの方に寄せたことが会場対面型の利点だと感じました。今後会場対面型で開催していきたいと思っております。					

決算（奈良県診療放射線技師会）

	科目	2023年度予算	2023年度決算
収入	事業対策費	41,539	33,383
	計	41,539	33,383
支出	施設使用料	11,020	11,020
	設備使用料	12,000	9,020
	講演資料(色鉛筆×30)	3,300	3,300
	講演資料(エプロン)	999	999
	講演資料(キャップ)	1,280	1,280
	講師・スタッフ昼食費	10,000	4,617
	講師お茶代		207
	スタッフ交通費	2,940	2,940
	計	41,539	33,383

決算（日本診療放射線技師会）

	科目	2023年度予算	2023年度決算
収入	事業対策費	66,384	56,384
	計	66,384	56,384
支出	講師料	60,000	50,000
	通信費	6,384	6,384
	計	66,384	56,384

*講師交通費は JART から講師本人へ振込の為計上せず
 *第 1 回臨時理事会で審議頂いた結果、日本診療放射線技師会の講師料 50,000 円で分配した。

②告示研修(実技研修) 奈良県 2023.12.16/17(7・8 回目)

開催場所：奈良県立医科大学

開催日時：

2023 年 12 月 16 日 (土) 9 : 00 ~ 18 : 00 (7 回目)

2023 年 12 月 17 日 (日) 9 : 00 ~ 18 : 00 (8 回目)

定員：48 名(計：96 名)

募集期間：2023 年 10 月 9 日 ~ 2023 年 12 月 1 日(金)

*両日 (統一講習会受講者のみ募集期間開始日の 1 週間前より予約可能)

広 報：会員へのインフォメーションメール

ホームページ掲載予定

JART への開催前申請書(完成版)を開催 4 か月前の提出が必要。

監督者(医師役)を野儀理事。看護師役を日浦理事。

ファシリテータ 役割に関しては変更可能。

監督者：野儀理事

静脈路講師：日浦理事

静脈 :
 静脈その他 :
 静脈 RI :
 上部消化管 :
 下部消化管 : 高谷会長
 動脈 :
 開催責任者 : 錦理事
 スタッフ : 高谷会長/高田理事

定 員 : 20 名
 募集期間 : 2022 年 9 月中旬～定員に達したら
 HP で締切を伝達。
 広 報 : 会員へのインフォメーションメール済
 ホームページ掲載済
 講 師 : 講義 : (千代田テクノル)
 実技 : 小西勇輔・小西高史 (教育外部委員)

予算案

予算案

奈良県診療放射線技師会		
科目	奈良県 2023.07.15(5回目) 決算	奈良県 2023.12.16(7回目) 予算
収入 事業対策費	25,278	17,000
計	25,278	17,000
支出 講師料: 開催責任者及びスタッフ分の補填	17,000	17,000
カメラ担当追加スタッフ	5,000	0
追加消耗品(養生テープ)	3,278	0
計	25,278	17,000

*講師料: 開催責任者及びスタッフ分の補填

日本診療放射線技師会		
科目	奈良県 2023.07.15(5回目) 決算	奈良県 2023.12.16(7回目) 予算
収入 事業対策費	200,900	203,000
計	200,900	203,000
支出 講師料	193,000	193,000
会場費・施設使用料	0	0
お弁当・お茶代	7,900	10,000
計	200,900	203,000

*お弁当代・お茶代は奈良県診療放射線技師会で一時立替

*交通費は日本診療放射線技師会より個人払い

奈良県診療放射線技師会		
科目	奈良県 2023.07.16(6回目) 決算	奈良県 2023.12.17(8回目) 予算
収入 事業対策費	17,000	17,000
計	17,000	17,000
支出 講師料: 開催責任者及びスタッフ分の補填	17,000	17,000
計	17,000	17,000

*講師料: 開催責任者及びスタッフ分の補填

日本診療放射線技師会		
科目	奈良県 2023.07.16(6回目) 決算	奈良県 2023.12.17(8回目) 予算
収入 事業対策費	200,711	203,000
計	200,711	203,000
支出 講師料	193,000	193,000
会場費・施設使用料	0	0
お弁当・お茶代	7,711	10,000
計	200,711	203,000

*お弁当代・お茶代は奈良県診療放射線技師会で一時立替

*交通費は日本診療放射線技師会より個人払い

③近畿教育委員会会議

2023 年 9 月 2 日(土) 14:00～15:00

(2) 奈良県診療放射線技師会関係

①漏洩線量測定講習会

開催場所: (公財)天理よろづ相談所病院 外来棟

放射線部 4F、講堂 5F

開催日時: 2023 年 10 月 14 日(土) 14:00～16:00

	科目	2022年度決算	2023年度予算
収入	事業対策費	12,180	12,680
計		12,180	12,680
支出	講師料	10,000	10,000
	交通費	2,180	2,180
	講師お茶代	0	500
計		12,180	12,680

【質疑】

山田理事: 前回の告示研修の事業対策費が 17,000 円であったのが 2 名分の補填分ですよね、7,000 円になったのはどうしてですか。

錦 理 事: スタッフが無くなったためです。日放技から出るファシリテータ報酬が 15000 円、スタッフ報酬が 5,000 円ですのでその差 1 万円を補填しています。

山田理事: スタッフはいなくなったのですか。

錦 理 事: 高田理事にスタッフ参加していただきます。高田理事はファシリテータの資格を持っていません。

山田理事: 仕事は同じことをするのですよね。

高谷会長: ファシリテータの仕事はできません。雑務をしていただきます。

山田理事: それで安くなっているのですね。

錦 理 事: 日放技からはファシリテータ 15,000 円、開催責任者が 8,000 円、スタッフが 5,000 円出ます。その補填分として開催責任者に 7,000 円、スタッフに 10,000 円の合計 17,000 円の補填となります。

今回はスタッフの高田理事がファシリテータの資格を持っていないので、スタッフとしての報酬としています。

山田理事: 奈放技からの補填分なので減額の必要がないのではないですか。拘束時間は同じですよね。

日浦理事: その都度理事会で承認される事項ですので、変更可能です。第 1 回の告示研修のときにその

ようにしたので、そのことを反映してくれています。高嶋監事よりアドバイスしていただいたと記憶しています。

高谷会長：奈放技負担分ですので、ここで承認が得られれば変更できます。

錦理事：1日来ていただくことに変わりありませんので、承認いただけるのであればそのほうがよいと私も思うのですが。

高谷会長：今のところ年間4回ですので、一般の会員にスタッフを依頼することはないと思います。どうしてもファシリテータがいなくて他の理事や、委員に出ていただく可能性はあります。当会としては理事会で承認があれば問題がありません。予算案は同じにして審議事項にしてはどうですか。

山田理事：今年度の予算的に余裕がありません。ちょっと気になったのです。

錦理事：修正して同額とさせていただきます。

高田理事：ファシリテータの資格を持っていないので、同等のことが出来ない身で同額の報酬をもらうのは憚られます。

高谷会長：同じ拘束時間となりますので、理事会で承認を得ればよいです。

【審議事項】

告示研修(実技研修) 奈良県 2023.12.16日/17日(7・8回目開催)予算(講師料:開催責任者及びスタッフ分の補填)

保留【0】反対【0】賛成【15】

漏洩線量測定講習会予算案 保留【0】反対【0】賛成【15】

5. 広報関連事項(高田太輔広報委員長)

(1) 鹿苑ニュース No.290 発行

9月11日入稿済 9月19日発送予定

(2) 鹿苑ニュース No.291 発行準備:11月発行予定

巻頭言、イベント開催案内など(締切:10月末)

(3) クロネコDM便が令和6年1月31日に終了

今後の発送方法として、新サービス「クロネコゆうメール(仮)」を検討中

(4) ホームページ関連

ホームページ委員会(秋山敬純ホームページ委員長)

2023年7月12日

Web懇談会開催に伴う参加者募集のお知らせご案内

2023年7月19日

サーベイメータの貸し出しについてのご案内

2023年7月29日

放射線フェスタ 2023 開催のお知らせについて

組織委員会 東・南地区懇話会 開催のご案内

2023年8月17日

第50回奈良県RIミーティング 開催のご案内

日本放射線技術学会 第67回近畿支部学術大会

シンポジウムアンケートご協力をお願い

2023年8月19日

磁気共鳴(MR)専門技術者認定試験 直前対策

on the Web のご案内

2023年9月4日

奈放技 学術大会 2023 開催のお知らせについて

【質疑】なし 【審議事項】なし

6. 福利厚生関連事項(玉井宏征福利厚生委員長)

(1) 2023年度厚生事業について

① 第70回近畿地域診療放射線技師会野球大会(京都府)

日時:2023年10月15日(日曜日)

場所:山城総合運動公園太陽が丘野球場

第3・第4野球場

時間:8時45分より

② 秋の厚生事業:ハイキング&BBQ大会

会場:天理観光農園(天理市園原町183)

日時:2022年11月5日(日)

ハイキング:10:30~(1時間程度)

BBQ:11:30~15:00まで

(2) 福利厚生事業予算案について

① 第70回近畿地域診療放射線技師会野球大会(京都府)

	科目	本年度予算
収入	参加費(参加費徴収なし)	—
	事業対策費	100,000
	計	100,000
支出	各県負担金	36,000
	旅費交通費(20名)	40,000
	食事(弁当代20名)	20,000
	雑費	4,000
	計	100,000

② 秋の福利厚生事業「ハイキング&BBQ」

	科目	本年度予算
収入		—
	事業対策費	40,000
	計	40,000
支出		—
	印刷費(ポスター等)	2,000
	景品	35,000
	雑費	3,000
	計	40,000

(3) 新年情報交換会の開催日について

開催日時：2024年1月20日(土) 公開講座後に
行う予定。

次回開催場所、時間等を決定し報告

【質疑】

日浦理事：秋の福利厚生事業の予算案についてですが、参加費、会場利用料の金額が出ていませんが、人数を予測して概算でも入れておいた方がよいのではないですか。

山田理事：そうですね。飲食費で計上できないので、景品に変えては如何ですか。

高嶋監事：会費は載せてもよいですが、受益者負担とします。消しておいてよいですが。

山田理事：事業対策費は雑費、印刷、景品が含まれます。玉井理事：50人として、飲食費は景品とします。

小林副会長：参加費はいりません。

高谷会長：収入は事業対策費だけで、支出は印刷費、景品、雑費としてください。

【審議事項】

第70回近畿地域診療放射線技師会野球大会の予算案

保留【0】 反対【0】 賛成【15】

秋の福利厚生事業「ハイキング&BBQ」の予算案

保留【0】 反対【0】 賛成【15】

7. 安全管理関連事項 (吉田真大安全管理委員長)

(1) 医療安全(主担当：池口副会長)

① 医療安全ネットワーク会議

8月23日(水) 14時から開催予定

「リハビリテーション時の車椅子での転倒による後頭骨骨折事例」

参加者なし

② 医療安全の研修会について(9/22 懇話会)

造影 CT 検査の際の血管外漏出について 小林副会長

MRI 検査時の医療安全について 吉田理事

医療安全ネットワーク会議を参考に発表

(2) 原子力災害時対応 (主担当：小林副会長)

原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する研修会について

2024年2月頃を目処に消防と合同開催を目指す
進捗なし

(3) 災害対策・対応 (主担当：葛和外部委員)

災害が発生した際に、まずは被災状況を取りまとめることができるように体制を作ること目標とする。

進捗なし

(4) その他

安全管理委員会だより

医療安全ネットワーク会議の参加記を主に掲載してい

ましたがテーマを決めて会員の方々に情報発信していく方向で検討

次回の鹿苑ニュースに掲載していただく予定

【質疑】

高谷会長：原子力災害の研修会についての進捗はどうなっていますか。

小林副会長：まだ進捗ありません。

高谷会長：消防署も忙しくなっていますので、次回には分かるようにしていただきたいです。


【審議事項】 なし

8. 組織関連事項 (辻村恭平組織委員長)

(1) 放射線フェスタ 2023 開催報告

開催日時：2023年8月20日(日) 10:00~15:00

開催場所：近鉄百貨店橿原店 1F メビウスホール

イベント開催報告書				公益社団法人奈良県診療放射線技師会	
委員会	組織	イベント名	放射線フェスタ2023	会員	0名
報告者	辻村恭平	日時	令和5年8月20日	一般	89名
		場所	近鉄百貨店橿原店		
プログラム・内容:				ポスター・デラシ・写真等掲載欄	
組織事業 放射線フェスタ2023 1. 超音波骨密度測定(無料) 2. 診療放射線技師のしごと紹介 3. 各種がん検診の紹介・啓発 4. イベント・ポケットテック配布					
参加スタッフ 会長 高谷 英明(国保中央病院) 副会長 小林 勝宗(社会医療法人田北会田北病院) 組織委員長 辻村 恭平(JCOH基ヶ丘医療センター) 委員 高田 太輔(大和高田市立病院) 委員 細川 倫之(西奈良中央病院) 委員 山口 長志郎(奈良県西和医療センター) 外部委員 完田 俊介(奈良医大附属病院)					

放射線フェスタ 2023 (2023年8月20日) 決算書

	科目	2022年度 決算	本年度予算	本年度決算
収入	参加費(参加費徴収なし)	—	—	—
	事業対策費	120,720	140,000	152,326
	計	120,720	140,000	152,326
支出	会場費	24,640	25,000	24,640
	賃借料	69,940	66,000	66,000
	講師謝金	0	0	0
	旅費交通費	1,440	5,000	1,460
	消耗品費	6,965	20,000	2,990
	広告宣伝費	8,030	—	42,991
	印刷製本費	0	10,000	0
	通信費	0	0	0
	支払手数料	1,270	4,000	6,365
	雑費	8,435	10,000	7,880
	計	120,720	140,000	152,326

(2) 東・南地区懇話会について

開催日時：2023年9月22日(金) 19:00~20:30

開催場所：橿原商工経済会館(7階中ホール)

ハイブリッド形式 (Zoom 配信)

開催内容：医療安全について(安全管理委員会とコラボ)

座長：辻村

講演内容：1部 田北病院 小林副会長

2部 奈良県西和医療センター 吉田理事

現在の Web 参加登録状況：9名

予算 (案)

	科 目	2022 年度 予算	2022 年度 決算	本年度予算
収入	参加費 (参加費徴収なし)	—	—	—
	事業対策費	28,130	2,200	104,974
	計	28,130	2,200	104,974
支出	会場費	11,760	0	94,974
	賃借料	5,310	0	0
	講師謝金	0	0	0
	旅費交通費	6,060	0	5,000
	消耗品費	0	0	0
	会議費	0	0	0
	印刷製本費	0	0	0
	通信費	0	2,200	0
	雑費	5,000	0	5,000
	計	28,130	2,200	104,974

予算 (案)

	科 目	2022 年度 予算	2022 年度 決算	本年度予算
収入	参加費 (参加費徴収なし)	—	—	—
	事業対策費	181,660	120,394	135,800
	計	181,660	120,394	135,800
支出	会場費	57,860	35,860	35,860
	賃借料	69,720	69,940	69,940
	講師謝金	0	0	0
	旅費交通費	6,080	4,760	5,000
	消耗品費	2,000	0	0
	広告宣伝費	10,000	0	10,000
	印刷製本費	21,000	0	5,000
	通信費	0	0	0
	雑費	15,000	9,834	10,000
	計	181,660	120,394	135,800

(3) 放射線フェスタⅡについて

開催日時：2023 年 10 月 29 日 (日) 10:00~15:00

開催場所：奈良ファミリー1F らくだ広場

(使用料 10 万円：税別)

事業目的：県民に向けての健康増進及びがん検診受診率向上の一助となるような情報提供

事業内容：骨塩定量測定・放射線知識の普及・啓発・検査画像紹介

被ばく相談：担当者未定

：後援名義使用申請承認：奈良県 奈良市

予算 (案)

	科 目	2022 年度 予算	2022 年度 決算	本年度予算
収入	参加費 (参加費徴収なし)	—	—	—
	事業対策費	219,200	193,500	219,860
	計	219,200	193,500	219,860
支出	会場費	110,000	110,000	110,000
	賃借料 (骨密度装置レンタル費用)	66,000	69,940	69,940
	講師謝金	0	0	0
	旅費交通費	4,700	3,460	4,700
	消耗品費	5,000	600	5,000
	会議費	—	—	—
	印刷製本費	20,000	0	20,000
	通信費	0	0	0
	支払手数料	—	220	220
	雑費	13,500	9,280	10,000
	計	219,200	193,500	219,860

(4) レントゲン週間イベント

開催日時：2023 年 11 月 3 日 (祝) 10:00~15:00

開催場所：ミ・ナーラ 1 階

開催内容：① X 線を用いたがん検診の紹介と受診率向上に向けた啓発

② X 線検査の紹介

骨塩定量測定装置について、レンタルで使用する方向

(5) 北・西地区懇話会について

開催日時：2024 年 2 月の金曜日ですすめる

内 容：案として、

- ① 医療安全について (安全管理委員会とのコラボ第二弾) 吉田理事に確認中。
- ② 医療機器のサイバーセキュリティ
大阪府急性期医療センターのサイバーテロの経験談は依頼できそう (完田委員)
- ③ Ai (オートプシーイメージング) の現状について (長所、短所) etc.

施行施設が限られるため、あまり活発な意見交換が期待できないか

④ その他のテーマ案

- (ア) 新入職の方に 1 年の経験経て感じたことなど
- (イ) タスクシフト/シェアに向けて取り組んでいることなどの現状の情報共有
- (ウ) 技師長会議的な演題も良いのではないか
(タスクシフト・新人教育など複数のテーマに)
→タスクシフト/シェアに関する取り組みや現状をテーマとして内容を具体的に検討してはどうか

次回の組織委員会で、北・西地区懇話会の「内容」を決定する方向

【質疑】

高谷会長：8 月のフェスタは多くの方に来場していただきました。広報を見てこられた方もたくさんおられました。広報は非常に大事だと思いました。フェスタⅡの方が広報していただいているのですね。

辻村理事：レントゲン週間の方は今後の検討となります。

奈良県に載せていただくことが一番よいのですが、抽選になりますので、確実ではないです。

【審議事項】

東・南地区懇話会予算案 保留【0】反対【0】賛成【15】

放射線フェスタⅡ予算案 保留【0】反対【0】賛成【15】

レントゲン週間イベント予算案
保留【0】反対【0】賛成【15】

Ⅲ. 特別委員会

1. 創立75周年記念事業

報告事項なし

2. 事務所移転に関する検討委員会

報告事項なし

Ⅳ. 常置委員会

1. 定款改正委員会（水野吉将委員長）

（1）第2回定例理事会にて提案した3点について理事会における承認の可否について

①会費納入規程の改正案

②会費納入規程細則の改正案

③主催行事講師料等内規および厚生事業運営経費内規の以下の文言の変更。

（ア）主催行事講師料等内規、講師別の2、近畿地域放射線技師会会員

（イ）厚生事業運営経費内規、「2、行事主体を2つに区分する」のAの近畿地域放射線技師会この部分の近畿地域放射線技師会を近畿地域診療放射線技師会へ変更する。

【質疑】

日浦理事：附則の書き方についてですが、1に「この内規は・・・」、2に同じ文章で日付が違うものが入っていくのですか。

水野監事：そうです。1に施行した日、改訂したら下に書いていきます。

【審議事項】

会費納入規程の改正案について
保留【0】反対【0】賛成【15】

会費納入規程細則の改正案について
保留【0】反対【0】賛成【15】

主催行事講師料等内規および厚生事業運営経費内規の文言の変更について
保留【0】反対【0】賛成【15】

2. 表彰委員会（小林勝宏委員長）

報告事項なし

3. 海外交流委員長（池口俊孝委員長）

報告事項なし

4. その他

線管理委員会

・測定器の貸出

機種：電離箱 NHA(富士)

貸出日～返却日 貸出先

2023.08.28～09.04 会員施設（山ノ辺病院）

2023.09.05～09.11 会員施設（大和樞原）

2023.09.12～09.19 会員施設（辻村病院）

・校正・点検

日立社製（千代田テクノル）

電離箱式サーバイメータ、GM管式サーバイメータ、ポケット線量計

GM管式サーバイメータ GM管交換修理

点検・校正9月末返却予定

【質疑】

日浦理事：校正点検の予定はどうなっていますか。

池口理事：毎年1台としています。RI規制法関連のことであるとおもいますが、1年ごとに交互にしています。毎年、校正されたサーバイメータが1台ありますので、必要があれば、相互校正をしていただくことで、RI規制法にも対応できると考えています。

【審議事項】なし

V. 審議事項まとめ

奈良県診療放射線技師会学術大会2023予算案

保留【0】反対【0】賛成【15】

2023年度県民公開講座予算案

保留【0】反対【0】賛成【15】

告示研修（実技研修）奈良県2023.12.16日/17日（7・8回目開催）予算（講師料：開催責任者及びスタッフ分の補填）

保留【0】反対【0】賛成【15】

第70回近畿地域診療放射線技師会野球大会の予算案

保留【0】反対【0】賛成【15】

秋の福利厚生事業「ハイキング&BBQ」の予算案

保留【0】反対【0】賛成【15】

漏洩線量測定講習会予算案

保留【0】反対【0】賛成【15】

東・南地区懇話会予算案

保留【0】反対【0】賛成【15】

放射線フェスタⅡ予算案

保留【0】反対【0】賛成【15】

レントゲン週間イベント予算案	11月5日(日)
保留【0】反対【0】賛成【15】	大阪府診療放射線技師会創立75周年記念式典
会費納入規程の改正案について	11月5日(日)
保留【0】反対【0】賛成【15】	京都府診療放射線技師会創立75周年記念式典
会費納入規程細則の改正案について	11月19日(日)
保留【0】反対【0】賛成【15】	第4回定例理事会
11月21日(火)	
主催行事講師料等内規および厚生事業運営経費内規の文言の変更について	保留【0】反対【0】賛成【15】
VII. 次回理事会について	
2023年11月21日(火) 19時00分～	
場所 奈良県立医科大学 厳櫃会館 特別会議室1	
以上	
この議事が正確であることを証するために議長及び議事録署名人は記名捺印する。	
2023年9月19日(火)	
議長 会長(代表理事) 高谷 英明 印	
議事録署名人 水野 吉将 印	
高嶋 敏光 印	
議事録作成人 竹中 智士 印	
奈良県橿原市兵部町2番9号フレガビル4F	
公益社団法人 奈良県診療放射線技師会	
レントゲン週間イベント予算案	11月5日(日)
保留【0】反対【0】賛成【15】	大阪府診療放射線技師会創立75周年記念式典
会費納入規程の改正案について	11月5日(日)
保留【0】反対【0】賛成【15】	京都府診療放射線技師会創立75周年記念式典
会費納入規程細則の改正案について	11月19日(日)
保留【0】反対【0】賛成【15】	第4回定例理事会
11月21日(火)	
主催行事講師料等内規および厚生事業運営経費内規の文言の変更について	保留【0】反対【0】賛成【15】
VII. 今後の予定	
日本診療放射線技師会 Web 懇談会	9月21日(木)
東・南地区懇話会	9月22日(金)
第39回日本診療放射線技師学術大会および第30回東アジア学術交流会 熊本城ホール	9月29日(金) ～ 10月1日(日)
第4回学術委員会	10月3日(火)
漏洩線量測定講習会	10月14日(土)
第70回近畿地域放射線技師会野球大会 山城総合運動公園太陽が丘野球場	10月15日(日)
第4回組織委員会	10月20日(水)
奈良県診療放射線技師会 学術大会2023 橿原市商工経済会館 7階大ホール	10月22日(日)
兵庫県放射線技師会創立75周年記念式典 ANA クラウンプラザホテル神戸	10月22日(日)
放射線フェスタⅡ 奈良ファミリー 1F らくだ広場	10月29日(日)
レントゲン週間イベント ミ・ナーラ 1階	11月3日(金)
秋の厚生事業：ハイキング&BBQ 大会 天理観光農園	